

1 単元設定の理由

本校の児童の思いとして、

- ・みんなと一緒に歩いてもっとみんなとの絆を深め、達成感を味わいたい。
- ・小浜と京都を結んでいた鯖街道を歩いていた、昔の人の大変さを体験し、新しくできた日本遺産の伝統を引き継ぎたい。

という理由、児童の実態のもとに以下の内容を実施した。

2 単元目標

短期目標：苦しいこと、大変なことに立ち向かってやり遂げることを通じて、達成感や自己有用感を持ち、逞しい心を培う。

：日本遺産となった「鯖街道」や食の世界遺産となった「なれずし」についての理解を深め、内外海に誇りを持ち、郷土を大切に作る気持ちを育てる。

：励まし合って活動し、仲間との絆を深め、学級の結束を高める。

：自分たちを支えてくれている方への感謝の気持ちを持つ。

長期目標：小学校生活最後の年の思い出を作る。

：大変なことをやりきった経験を、中学校生活での確かな自信にしていく。

3 単元の学習の流れ

時 時間	学習活動	指導上の留意点(評価基準)
7 時間	鯖街道について学ぶ校外学習 ・鯖街道を踏破する前に前もってこの街道の宿場町である若狭町の熊川宿を見学した。ここには街道の歴史、背景などが詳しく記してあり、学習を深めるとともに児童の士気を高めた。 5月18日(水) 若狭街道熊川宿見学 学校 小浜駅 ... 電車... 上中駅... 若江バス... 熊川宿(見学・昼食) 熊川宿発... バス... 上中駅... 電車... 小浜駅 学校	・内外海地区が日本遺産に選定された鯖街道の起点であることから、その輝かしい歴史や、先人の苦勞を学ぶことを通じて、将来への志を持てるようにする。
1 2 時間	【鯖街道踏破】 1回目 5月31日(火)：自転車 学校～下根来：約23km 学校 泉町(鯖街道資料館) 若狭歴史博物館 鵜の瀬 旧下根来小 学校	・歴史を学びながら今後の内外海の地域活性化を考えられるようにする。
1 2 時間	2回目 9月30日(金)：徒歩 上根来～久多(京都市左京区)：約27km 学校 上根来 小入峠頂上 山帰来 (昼食) 久多 内外海小学校	・子どもの体力の面を十分考慮し児童の体力面および精神面の向上を図る。

1 2 時間	<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">3回目 10月下旬</div> 約17km 小学校 久多 オグロ坂 ニノ 谷管理舎(昼食) 花脊峠 出町榊形商店街 学校	・鯖街道終着点の出町榊形商店において、なれずしや鯖街道を紹介する学習活動を行い、児童の情報発信力やコミュニケーション力を養う。(学習成果は校内・保護者・地域にも発信していく。)
外部連携・教材など 道が険しく長距離なので、安全面を考え、3回に分けて実施する。当日に備え、引率者による下見を実施するとともに、当日は「小浜市山の会」にガイドを依頼し担任、養護教諭、管理職が引率した。 資料「鯖街道歴史研究会」編纂の『小浜から京へ鯖街道 針畑越えガイド』		